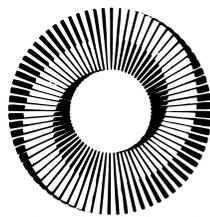


京都御苑 ニュース

秋

「京都御苑の自然」 (季節の詩・うたを通して)

小寺 祐三



自然はわれらを われらは自然を

絶えまない人と自然の連携を象徴するメビウスの連環。これが息の長い活動が期待される自然保護のシンボルマークに表現されています。

発行人
〒602-0881 京都市上京区
京都御苑3番地
☎075-211-6364
財団法人 国民公園協会
京都御苑 木村博司
編集
白川書院
監修
環境省京都御苑管理事務所
本紙は再生紙を使用しています。



キノオオフクロタケ

昨年九月に「母子の森」でキノオオフクロタケという絹状の光沢がある綺麗な大型のきのこが発見されました。大きなエノキの倒木(六年ほど前から置かれていた)に初めて発生した珍しいきのこでした。その倒木には毎年夏から秋にかけてアラゲキクラゲ、ヒラタケが発生、コフキサルノコシカケは一年中発生を繰り返していましたが、その材はきのこの作用により分解が進み、朽ち果てる寸前でした。その材から最後の養分を吸収するかの様に、大型のキノオオフクロタケが発



かさの表面

倒木(六年ほど前から置かれていた)に初めて発生した珍しいきのこでした。その倒木には毎年夏から秋にかけてアラゲキクラゲ、ヒラタケが発生、コフキサルノコシカケは一年中発生を繰り返していましたが、その材はきのこの作用により分解が進み、朽ち果てる寸前でした。その材から最後の養分を吸収するかの様に、大型のキノオオフクロタケが発

生じたのです。あまりにも綺麗なきのこで、見とれてしまいました。かさの表面はその名の通り、キノの感触そのもので、自然が作り出した芸術作品といえます。いつの日か再び出会いたいきのこだと思っております。きのこのキノオオフクロタケの発生を最後に、発生の材は完全に分解され腐生菌としてあらゆるきのこの生活が終わりました。つまり一本の巨大な倒木が土に還ったのです。九月後半になると苑内南の落葉が集められたところにエリマキツチグリが多数発生します。その様子はこれからやってくる

冬に備え、マブラーを纏っているようにみえます。マツの切り株からマツオウジが夏から継続して発生を続けています。十月にはシイの巨木にヒラフスベが塊状となって発生し、毒きのこで大型菌の「オオシロカラカサタケ」もまだ発生しています。苑内にはマツが多いので、何処を歩いてもマツカサが沢山落ちています。このマツカサを分解するきのこは京都御苑ではマツカサタケ、ニセマツカサシメジ、マツカサキノモドキノ担子菌類三種が毎年定番ですが、初めてマツカサに子囊菌類が発生し、大

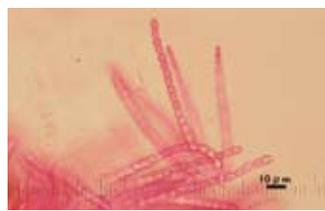


Podstroma.sp



ニクコウヤクタケ

変驚きました。和名のPodstromaの仲間というポタンタケ科に属する大変珍しいきのこです。上の写真で黒いきのこは完全成熟していますが、右の黄色い個体は未成熟です。細長い子囊の中には八個の子囊胞子が作られ、成熟すると胞子の隔壁が



Podstroma.sp 子囊と子囊胞子

分裂して十六個の子囊胞子になります。この他にも秋の苑内にはカラカサタケの仲間、オニタケ、マツカサタケ、ハタケシメジなどのきのこで賑わっています。苑内には「クスノキ」の巨木があり、その幹や枝をよく観察するとピンク色をした小さなきのこがいくつも連なって発生しているの気がつきます。「ニクコウヤクタケ」という硬いきのこの仲間が、長期発生しています。きのこが小さくて人目につかないのです



ニクコウヤクタケの胞子



ニクコウヤクタケの糸状体

が、胞子や菌糸構造を顕微鏡で観察すると、面白いミクロの世界を観察することができます。きのこは自分の子孫を増やすために胞子をたくさん作って自然界に飛ばしています。花粉と同様、大気中にはきのこの胞子も無数に飛んでいます。ニクコウヤクタケの胞子は半円形の面白い形をし、糸状体という菌糸の組織はまるで有刺鉄線のような形で構成され肉眼では観ることが出来ない不思議な世界が接眼レンズの中で観察できます。秋も深まり、十一月の紅葉が見ごろを迎えると、苑内ではエノキタケやヒラタケなど、きのこの発生してきます。目線から上には暗れ渡った空をバックに見事な色彩の紅葉足下には秋のきのこが目に見え込んできて、慌しく御苑の秋は駆け抜けてゆきます。



オオアイトトンボ

オオアイトトンボは、翅を半開きにして止まり、アオイトトンボは翅を完全に開き止まり、胸の緑色が鮮やかで、スマートなイトトンボです。オオアイトトンボのメスは、池の上につき出た低木の枝に産卵管を突き立てて産卵するという面白い習性があります。十月のトンボ池公開の日には、どのようなカエルや蝶、トンボが迎えてくれるでしょうか。珍しい生き物たちとの出会いを楽しみにお越しください。(京都自然観察学習会)

モリアオガエルやシュレーゲルアオガエル、アマガエル、ツチガエルにぎわうトンボ池も、十二月には姿を見ることは難しくなっています。温度や湿度が一定に保たれる土の中にもぐって、冬眠してしまふからです。シュレーゲルアオガエルは、モリアオガエルより一まわり小さく、五月から六月にかけて、地面に穴を掘って泡状の卵塊を産みつけます。トンボ池では、木製の橋の下やキシウブの根元に近い葉に白い卵塊を産みつけます。アマガエルによく似ていますが、アマガエルには顔の横の鼓膜から鼻先にかけて黒いラインがあります。また、モリアオガエルの目の虹彩は赤色ですが、シュレーゲルアオガエルでは黄色です。トンボ池で生息数の一番多いのはツチガエルです。ツチガエルは、池の周囲のキシウブの根元で冬眠しています。クサギやキツタの花が咲き始めると、クロアゲハや、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、アカタテハ、ルリタテハなど様々な蝶のパレードとなります。コナラの樹液を吸飲するゴマダラチョウによく出会えるのもトンボ池の特徴といえます。九月から十月にかけてリスアカネやマユタテ



シュレーゲルアオガエル

アカネなどのアカトンボとオオアイトトンボです。リスアカネには翅の先端に黒褐色の斑紋が見られるのが特徴ですが、マユタテアカネのメスにも翅の先端に斑紋がある場合もあるのに注意です。マユタテアカネの額を前から見ると、眉を立てたように見えます。オオアイトトンボは、翅を広げて止まりますが、アオイトトンボは翅を半開きにして止まり、胸の緑色が鮮やかで、スマートなイトトンボです。オオアイトトンボのメスは、池の上につき出た低木の枝に産卵管を突き立てて産卵するという面白い習性があります。十月のトンボ池公開の日には、どのようなカエルや蝶、トンボが迎えてくれるでしょうか。珍しい生き物たちとの出会いを楽しみにお越しください。(京都自然観察学習会)

秋のトンボ池

西台 律子

催事案内

■平成22年京都御苑自然教室

一般の方を対象とした自然教室の今後の予定は、下記のとおりです。都市の中で貴重な緑をもつ御苑で、秋の自然を観察しましょう。

秋の自然教室“秋の御苑にふれよう”

11月28日(日) 9:30~12:00

主催 環境省京都御苑管理事務所 TEL.075(211)6348
(財)国民公園協会 京都御苑 TEL.075(211)6364
講師 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。
内容 秋の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。

集合場所 京都御苑 石薬師御門前(上京区京都御苑内北東門)

受付時間 当日 9:00~9:20

参加費 無料

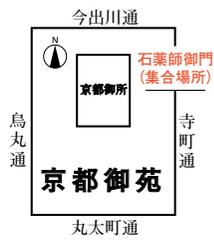
その他 筆記用具をご持参下さい。手持ちのルーペ、双眼鏡、図鑑などの観察用具があると便利です。

*以降自然教室予定

冬の自然教室“冬の御苑にふれよう”

平成23年1月23日(日) 9:30~12:00

詳細は次号でお知らせします。



御苑の花暦

和名	開花期	主に見られる場所
ミヤギノハギ	7月~9月	児童公園、凝華洞跡東側付近
ヒガンバナ	9月中旬	御苑内の各草地
サザンカ	11月~2月	児童公園付近

秋のトンボ池一般公開

10月15日(金)・16日(土) 9:00~11:30

近畿大台展・京都御苑自然展

10月9日(土)~31日(日)開催予定
於:閑院宮邸跡レクチャーホール

京都御所秋季一般公開

11月17日(水)~11月21日(日)

入場時間 9:00~15:30

入口:宜秋門(ぎしゅうもん)

出口:清所門(せいしょもん)

清所門の最終退出時間は午後4時15分

照会先:宮内庁京都事務所 TEL:075(211)1211

会員募集

- 会員の種類** (会費の会計年度は1月から12月まで)
①賛助会員(法人) 年会費 10,000円以上
②普通会員(個人) 年会費 1,000円以上
- 会員への特典**
①会祭、時代祭の招待券を進呈します。(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)
②本会発行物をそのつど送付します。
- 申し込み、問い合わせ先**
(財)国民公園協会 京都御苑
住所 京都市上京区京都御苑3
〒602-0881 TEL.075(211)6364



紅葉の源氏の庭

邸宅であった。それは鴨川の西側の堤防の西に接して営まれていたため「堤邸」と呼ばれ、それに因んで兼輔は、「堤中納言」の名で知られていた。紫式部は百年ほど前に兼輔が建てた「旧い家」で一生の大部分を過ごしたといわれ、この邸宅で藤原宣孝との結婚生活を送り、一人娘(かたこ・大式三位)を育て、源氏物語を執筆したのである。



廬山寺の桔梗

廬山寺は閑院宮家の菩提寺といふことで、光格天皇、閑院宮家の遺品も数多く下賜され、その中でも仁孝天皇が宮中の黒戸(仏間)で祭られていた仁孝天皇直筆の光格天皇、新清和院皇后の尊牌並びに厨子の荘厳さは比類なきものである。

現在の本堂は、宝永五年(一七〇八)、天明八年(一七八八)相次いで焼失後、寛政六年(一七九四)七月、閑院宮の称号を下賜される。二代典仁親王は寛政六年の崩御の後、明治十七年(一八八四)三月十九日太上天皇の追贈を賜り、慶光天皇と号する。又その御子

祐宮(兼仁親王)は安永八年(一七七九)に踐祚され光格天皇となられる。明治維新までは御黒戸四箇院といつて、宮中の仏事を司る寺院が四ヶ寺(廬山寺二尊院、般舟三昧院、遺迎院)あり、その中の一つであった。殊に廬山寺は閑院宮家の菩提寺といふことで、光



光格天皇・新清和院皇后の厨子

最後に京都の冬の代表的行事である節分会「鬼おどり」といわれ三匹の鬼(三種の煩悩・三毒(貪欲、瞋恚、愚痴)を節分の日に追い払う法会行事が毎年二月三日に執り行われる。(廬山寺管長)

京都御苑の前身である江戸時代の公家町は、諸国からやってきた旅人の観光スポットでもありました。また、年中行事の時には庶民が御所に参内できるなど、多くの人が往来するにぎわいのある空間でした。国民公園となった今でも、京都の歴史を感じる観光の場、都市の中に残された自然との考えが求められて

触れ合う場、日常生活の中の憩いの場として利用されています。長い歴史の中で空間のあり方や形態は変化して、様々な人に利用される場所であることに変わりはありません。近年、新たな利用者ニーズや社会情勢の変化に対応し、誰もが安心して快適に利用できるユニバーサルデザイン

京都御苑におけるユニバーサルデザイン

高橋 博幸

しかし、京都御苑では、全域に広がる歴史の遺産の保全に加え、動植物の生育・生息空間への配慮などの制約があり、一般的な都市公園などの考え方や整備基準をそのまま適用することは問題も多く、ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインを取り組むにあたっては、御所に参観する、御苑らしい景観を見る、御苑の文化・歴史を学ぶ、御苑の自然に親しむ、御苑で子供を遊ばせるといった主な来訪目的が達成できるように、優先的に整備するエリアを設定し、景観を損なうことがないような整備方法を採用して試

インを展開する上でも多くの課題が想定されました。そこで、障がい当事者や専門家に現状について点検を行っていただき、その結果を踏まえ、平成十九年度に策定した京都御苑基幹施設再整備基本計画のなかで、ユニバーサルデザイン化についての取組方針を定めました。

具体的には、平成二十一年度このエリア内において、砂利の景観や風合いに配慮した舗装の敷設、季節の花が楽しめる場所へのスロープの設置、車いすやベビーカーも利用できる野外卓の設置、多目的トイレへのオストメイト設備の導入をめぐります。

また、ユニバーサルデザインはハード面のソフト面での取り組みも必要となります。このため、砂利道でも走行しやすい電動とバギータイプの車いすの貸出を開始した他、季節ごとに情報を提供するパンフレットを作成し、だれでも入手できる場所に設置しました。

今後の利用者の反応や意見を聞きつつ、整備した施設が十分に機能しているかを検証しながら、様々な人たちが京都御苑をより楽しむことができるように取り組んでいきます。

(京都御苑管理事務所 普及指導企画官)



車いす使用者も一緒に座れる野外卓

近隣の寺 大本山廬山寺

町田 泰宣

廬山寺は天台圓浄宗の大本山で、廬山天台講寺ともいう。天慶年間(九三三)比叡山第十八世座主元三大師(慈恵大師)良源が京都の北、船岡山の南麓に開いたのに始まる。歴朝の帰依厚く、勅願寺として、円密、戒、浄の四宗兼学道場として洛中の比叡と称せられる。その後、応仁の兵火に遭い、また元龜二年の信長の比叡山焼き打ちにも遭遇するが、正親町天皇の勅命を受け、天正元年(一五七三)現在地・紫式部邸宅址に移転する。

当地は紫式部の曾祖父の中納言藤原兼輔(八七七~九三三)から伯父の為頼、父の為時へと伝えられた広い邸宅であった。それは鴨川の西側の堤防の西に接して営まれていたため「堤邸」と呼ばれ、それに因んで兼輔は、「堤中納言」の名で知られていた。紫式部は百年ほど前に兼輔が建てた「旧い家」で一生の大部分を過ごしたといわれ、この邸宅で藤原宣孝との結婚生活を送り、一人娘(かたこ・大式三位)を育て、源氏物語を執筆したのである。

現在の本堂は、宝永五年(一七〇八)、天明八年(一七八八)相次いで焼失後、寛政六年(一七九四)七月、閑院宮の称号を下賜される。二代典仁親王は寛政六年の崩御の後、明治十七年(一八八四)三月十九日太上天皇の追贈を賜り、慶光天皇と号する。又その御子

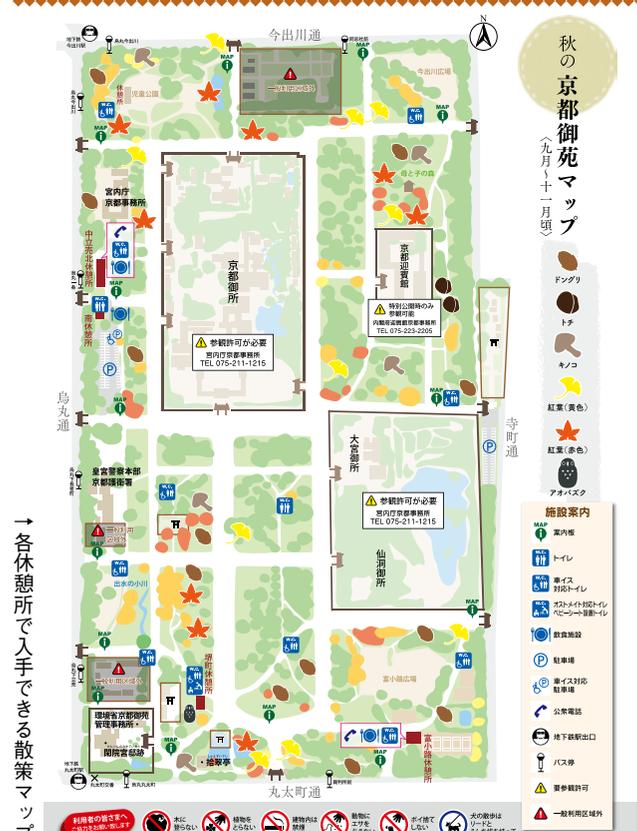
祐宮(兼仁親王)は安永八年(一七七九)に踐祚され光格天皇となられる。明治維新までは御黒戸四箇院といつて、宮中の仏事を司る寺院が四ヶ寺(廬山寺二尊院、般舟三昧院、遺迎院)あり、その中の一つであった。殊に廬山寺は閑院宮家の菩提寺といふことで、光

最後に京都の冬の代表的行事である節分会「鬼おどり」といわれ三匹の鬼(三種の煩悩・三毒(貪欲、瞋恚、愚痴)を節分の日に追い払う法会行事が毎年二月三日に執り行われる。(廬山寺管長)

また、ユニバーサルデザインはハード面のソフト面での取り組みも必要となります。このため、砂利道でも走行しやすい電動とバギータイプの車いすの貸出を開始した他、季節ごとに情報を提供するパンフレットを作成し、だれでも入手できる場所に設置しました。

今後の利用者の反応や意見を聞きつつ、整備した施設が十分に機能しているかを検証しながら、様々な人たちが京都御苑をより楽しむことができるように取り組んでいきます。

また、ユニバーサルデザインはハード面のソフト面での取り組みも必要となります。このため、砂利道でも走行しやすい電動とバギータイプの車いすの貸出を開始した他、季節ごとに情報を提供するパンフレットを作成し、だれでも入手できる場所に設置しました。



→各休憩所で入手できる散策マップ